



令和8年度 伊勢崎市立三郷小学校

学校経営構想

学校教育目標

「自分をみがく三郷の子 未来へ 世界へ」

目指す児童像

○得意なものがもてる子 ○相手の立場に立って行動できる子 ○自分の責任がはたせる子



『持続可能な未来社会を切り拓くことのできる子ども』を育む学校づくり

教育課題

- 豊かな心や確かな学力を育む質の高い教育活動の展開
- 主体的に自分をみがく児童を育む活力ある学校づくりの推進

学校経営の重点・努力点

1 信頼関係を基盤とする学校づくり

- 児童と教師、児童同士の信頼関係づくり
- 保護者・地域との信頼関係づくり

2 児童一人一人の豊かな心の育成

- 互いを認め合える温かい学級・学年・学校づくり
 - ・自己肯定感・自己有用感を高める学級経営
 - ・社会性の基盤を育む道德、学活、学校行事
 - ・不登校ゼロ・いじめゼロを目指す生徒指導および教育相談
- 規律ある学校生活づくり

3 児童一人一人の確かな学力の向上

- 教科の魅力を伝える授業づくり
 - ・主体的な学びを引き出す授業の工夫
 - ・考え、表現する学び合い活動の重視
 - ・学びを実感させる振り返り活動の設定
- 体験や経験を重視した教育活動
 - ・成果を感得できる学習活動
- OGIGAALスクール構想の実践

4 教職員の組織的な学校運営への参画

- 「児童ファースト」の視点を大切にした学校運営
- チーム三郷小の一員としての経営参画
- 信頼関係を基盤にした働きやすい職場づくり

三郷小はこんな学校を目指しています！

- 児童、保護者・地域、教職員にとって居心地の良い学校に！
- 児童にとって「通いたい学校」、保護者にとって「通わせてよかった学校」